

環日本海交流の推進

環日本海定期貨客船の就航に向けては、境港管理組合において仮設旅客ターミナルが建設中でありますほか、環日本海経済活動促進協議会が中心となつて、ロシア・ウラジオストクの市場調査をはじめ、ロシア極東ビジネスセミナー、ロシア企業との商談会など、積荷の確保等に向けた積極的な取り組みが行われているところであります。

航路を運営するDBSクルーズフェリー社におかれましても、韓国国内での営業活動に加え、ウラジオストクと本市に現地事務所を開設されると伺つております。

本市としましても、8月には、寄港地である韓国東海市の市長と会談し、就航に向け両市が最大限の努力を行うことを確認しており、就航に合わせ、東海市において、境港の利用促進や中海圏域をはじめ山陰の観光PR活動を計画しておりますほか、韓国人観光客の受け入れ態勢整備など、受け入れ側としてできる取り組みを、鳥取県や中海市長会など関係機関とともに進めてまいります。

この航路の実現は、環日本海地域との交流を促し、山陰地方の経済活性化の起爆剤となるものであり、来年2月の就航に向

けて最大限努力する考えであります。

境港における平成20年上半期のコンテナ貨物取扱量は、前年同期を約9%上回つて推移しております。さらなる利用拡大に向け、境港貿易振興会による関西での利用促進懇談会の開催など、引き続き利用促進に努めてまいります。

米子・ソウル国際定期便につきましては、ウオン安の影響により、韓国からの入込みが苦戦しておりますが、金曜日便の発着時刻を早めるダイヤ改正もあり、日本からの利用は好調であります。

来年4月以降の運航継続に向けて、引き続き地域が一体となつて利用拡大に努めてまいります。

観

「水木しげるロード」の観光入込み客数は、8月10日に開設以来1千万人を突破してからも好調を維持し、10月末には本年の累計が150万人を超え、昨年の過去最高の記録を更新中であります。

開館5年目のリニューアルを終えた「水木しげる記念館」におきましても、入館者数は11月2日に昨年の記録を超え、11月末で約29万4千人、前年に比べ14%の増となっております。

光

これも、映画「ゲゲゲの鬼太郎」の公開や、「ゲタ飛ばし大会」、「妖怪検定」、「妖怪そっくりコンテスト」など民間の方々を中心とした、絶え間ないイベントのPR効果によるものと感謝しております。

広域圏の観光連携につきましては、これまでも民間を中心にした様々な取り組みが行われていますが、10月には、鳥取、島根両県の官・民で組織する「中海・宍道湖・大山観光協議会」の観光圏整備計画が、観光庁の認定を受け、「山陰文化観光圏」として長期滞在型観光の実現に向けて取り組んでいくこととなつたところであります。

本市関連の事業としては、今後、「市内食べ歩きマップ」の作成などにより、観光客の市内周遊性を高め、滞在時間の延長を図る計画となっております。

本市としても引き続き、水木しげるロードの魅力度向上を図るとともに、中海・宍道湖・大山を中心とした広域観光の推進に取り組んでまいります。

水産業

境漁港における本年1月から10月末までの水揚量は、8万3千トン余りで、前年同期の89%と下回っておりますが、水揚金額では、17.1億3千万円余りで、前年より3%上回っております。

ます。

魚種別では、夏場のクロマグロの水揚げが本年も好調で、特に水揚金額は初めて30億円を突破しましたが、反面、アジ、サバといったまき網主要魚種の水揚げは不調で、今後の水揚量の増加を願っております。

境港水産振興協会が中心となつて、昨年8月に立ち上げられました「境港地域水産業構造改革推進プロジェクト」につきましては、地域の漁船漁業経営における収益性向上を図りつつ、加工・流通など関連産業を含んだ将来像を描く改革計画が、先月、国の「漁船漁業改革推進集中プロジェクト中央協議会」で正式に承認され、今後、ベニズワイガニ関連産業の持続的発展を目指し、省エネ型の力二かご漁船の建造や流通の改善などに取り組まれることとなりました。

本市といたしましても、本プロジェクトの推進と実行につきましても、鳥取県と協調しながら今後とも積極的に支援してまいりますと考えております。

企業誘致の推進

本年9月、企業誘致と雇用創出を強力に進めるため「境港市企業立地の促進及び雇用の拡大に関する条例」を制定し、固定資産税の免除、雇用促進奨励金

等、立地企業に対する支援措置を大幅に拡充いたしました。

現在まで、条例に基づき、市内企業の企業立地事業計画を一件認定したところであります。

引き続き、支援措置のPRを積極的に行い、鳥取県等と連携して企業誘致活動を強化し、企業立地の推進と本市における雇用機会の拡大に取り組んでまいります。

夕日ヶ丘団地

夕日ヶ丘の分譲につきましては、境港市土地開発公社用地と市保留地の本年度の販売実績はございませんが、民有地につきましては、これまでに34区画が販売されているほか、アパートの建築も10棟を数え、街並みが拡大しつつあります。

このような中、苦情の多かった悪臭などの環境改善を図るため、9月に、境港市土地開発公社において、分譲地に隣接する事業所用地約2万6千平方メートルを、1億5千万円で先行取得したところであり、今後、親水護岸、公園、墓地として整備する方針であります。

また、これらと併せて、スーパーマーケット等の商業施設の誘致に引き続き努力するなど、夕日ヶ丘全体の魅力を高めながら、分譲の促進につなげていきたいと考えております。